

山岳救助隊ニュース 令和6年第6号

発行: 令和6年11月7日
埼玉県警察本部 地域部地域総務課

山岳遭難発生状況 (令和6年10月末現在) 58件61人(-17件-26人)・死傷者35人 (死亡4人、負傷者31人)

【ココヘリ】 × 【埼玉県警察】

県警は、10月24日に登山者向け会員制捜索ヘリサービス「ココヘリ」を運営する「オーセンティックジャパン株式会社」と連携協定を締結しました。

「ココヘリ」とは、会員に発信機を貸与し、登山の際に発信機を携帯することで、遭難時に受信機を搭載したヘリコプターで上空から会員の居場所を特定して、位置情報を警察などの救助機関に伝えるサービスです。

本協定により、県警への受信器及び発信機の提供と速やかな情報提供がなされ、より迅速かつ効率的な捜索救助活動が期待されます。



【協定締結時の状況】
(左) AUTHENTIC JAPAN(オーセンティックジャパン)株式会社 代表取締役 久我一総氏
(右) 埼玉県警察 地域部長 坂本雅彦



【受信機を活用した捜索訓練の状況】

冬の低山！油断大敵！！

県内における冬期（令和5年12月から令和6年2月までの3か月間）の山岳遭難は、13件発生しており、その内の9件は標高1000m未満の低山で発生しています。

遭難原因は、転倒・道迷い・滑落・疲労など様々ですが、冬の山は、小さな油断が大きな事故に繋がるおそれがあります。

低山でも予想外な事が起きないように自分の体力や技術、装備に見合った登山計画を立て、次の点に注意して準備を万全にしましょう。



----- 冬の登山の注意事項 -----

①アイゼン、チェーンスパイクなどの装備を携行

登山道が凍結していることがあります。

また、落ち葉の下も凍結している危険性があります。

②ダウンやアウターシェルなどの防寒・防風着の携行

稜線上は、季節風（北風）が強く吹くことがあります。

日没後は、急激に気温低下することがあります。

③行動食を多めに携行

気温が低いと身体のエネルギー消費量が多くなります。



～山岳遭難情報はコチラ！～

～採用情報～

情報発信

エックス（旧ツイッター）で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka



山岳救助隊・ポリスワークセミナー開催中

・山岳救助隊の活動に特化した体験型のセミナーを毎月、秩父警察署で開催しています。受験生ほか、家族・友人の方も一緒に体験できますので、ぜひ参加してみてください。

・お問い合わせ
埼玉県警・地域総務課 048-832-0110

～登山届はコチラ！～



山と自然ネットワークコンパス
Compass

<https://www.mt-compass.com/howto.php>

全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。



登山計画の提出が
手軽で簡単

利用者数No.1登山地図GPSアプリ **YAMAP**

